

# 七三だより 前期学校評価

平成29年10月31日  
京都市立七条第三小学校  
校長 中村 佳明

学校教育目標  
「なりたい自分 えがく めざす かなえる 共に」  
～夢をもてば 未来は変わる 世界は変わる～

平成29年度前期学校評価を実施しました。保護者の皆様、アンケートのご協力いただき、ありがとうございました。結果を分析・検討し、「今後の展望」では、「学校で行うこと」と「ご家庭で協力をお願いしたいこと」をまとめました。ぜひご一読いただき、今後の取組にご協力いただきますよう、よろしくお願いします。

保護者アンケートより	重要度					
	A 重要である	B やや重要である	A+B	C あまり重要ではない	D 重要ではない	C+D
「わかる」「できる」「楽しい」授業	92.2%	7.8%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
集団での学び合い	70.3%	28.9%	99.2%	0.5%	0.3%	0.8%
コミュニケーション能力（表現力）の育成	86.7%	13.3%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
授業と家庭学習をつなげる	62.9%	35.0%	97.9%	2.1%	0.0%	2.1%
自己有用感を育む（児童会活動やたてわり活動）	65.0%	33.4%	98.4%	1.6%	0.0%	1.6%
学校教育全体を通じての道徳教育	63.2%	33.7%	96.9%	2.9%	0.3%	3.1%
大人のあいさつ	81.9%	16.5%	98.4%	1.6%	0.0%	1.6%
大人の読書	47.0%	43.1%	90.1%	9.9%	0.0%	9.9%
大人のルール・マナー	83.0%	15.9%	99.0%	1.0%	0.0%	1.0%
基本的な生活習慣の確立	83.9%	16.1%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
遊びや体力づくりや遊びの推奨	73.2%	25.5%	98.7%	1.0%	0.3%	1.3%
安全・防犯・防災意識を高める指導	84.4%	15.1%	99.5%	0.5%	0.0%	0.5%
健全な心と体を育む	85.2%	14.6%	99.7%	0.3%	0.0%	0.3%
ルールやマナーの大切さ	89.8%	10.2%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
いじめや暴力を許さない学校づくり	95.6%	4.4%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「あいさつ」の習慣化	87.8%	12.0%	99.7%	0.3%	0.0%	0.3%
自己有用感を育む（小中一貫した取組）	70.9%	26.4%	97.4%	2.6%	0.0%	2.6%
地域と連携して教育活動を行う	56.0%	38.8%	94.8%	4.7%	0.5%	5.2%
積極的な情報発信	56.9%	38.9%	95.8%	3.9%	0.3%	4.2%
参観や行事、教育活動への参加・協力の呼びかけ	52.6%	39.8%	92.4%	7.0%	0.5%	7.6%

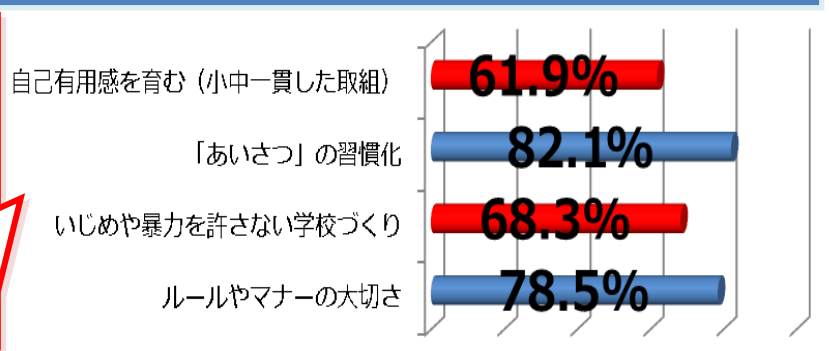
◆保護者の「重要度（ニーズ）」が全て9割超！  
「重要である」と「やや重要である」の合計の数値が全て9割以上。ほとんど100%と言っても過言ではありません。  
ここに挙げた項目は、今年度本校が大切にしている取組です。そんな学校の取組に対して、ほぼ全ての保護者の皆様がその「重要度」を理解してくださっているということであり、学校と保護者が同じ意識で七三の子どもたちを育ていけるというのは、非常に心強いことです。

	実現度						
	A よく 出来ている	B 大体 出来ている	A+B	C あまり 出来ていない	D 出来ていない	C+D	E わからない
集団での学び合い	23.4%	63.7%	87.1%	5.9%	0.8%	6.7%	6.2%
学校教育全体を通じての道徳教育	23.7%	63.6%	87.3%	5.1%	0.5%	5.7%	7.0%
自己有用感を育む（児童会活動やたてわり活動）	27.2%	59.9%	87.1%	6.2%	0.3%	6.5%	6.5%
安全・防犯・防災意識を高める指導	28.2%	62.3%	90.5%	6.5%	0.5%	7.0%	2.4%
健全な心と体を育む	18.7%	70.7%	89.4%	6.2%	0.5%	6.8%	3.8%

	重要度						実現度					
	A 重要である	B やや重要である	A+B	C あまり重要ではない	D 重要ではない	C+D	A よく 出来ている	B 大体 出来ている	A+B	C あまり 出来ていない	D 出来ていない	C+D わからない
大人の読書	47.0%	43.1%	90.1%	9.9%	0.0%	9.9%	9.4%	38.3%	47.7%	28.2%	9.1%	37.3% 15.0%

◆「大人の読書」については「重要度」「実現度」ともに少し低くなっています。  
七中エリアのリーフレット『子どもの本気 大人の本気』で、「大人のあいさつ」「大人の読書」「大人のルールとマナー」を呼びかけています。子どもたちは、大人の姿をみて育ちます。子どもたちの健全育成のため、大人がモデルを示しましょう、という趣旨で「大人の本気」を定めています。

◆「小中一貫した取組」については明暗  
「ルールやマナー」「あいさつ」は高い評価だったのに比べ、「いじめや暴力を許さない学校づくり」「自己有用感」は実現度が低く、「わからない」の回答も多く見られます。  
「ルールやマナー」や「あいさつ」に関して、リーフレットの作成や「あいさつ運動」といった取組が活発化している一方で「いじめ・暴力」と「自己有用感」の取組が見えにくかったようです。特に「いじめ・暴力」については、保護者の「重要度（ニーズ）」が100%なので、小中一貫した取組を活性化させていきたいところです。

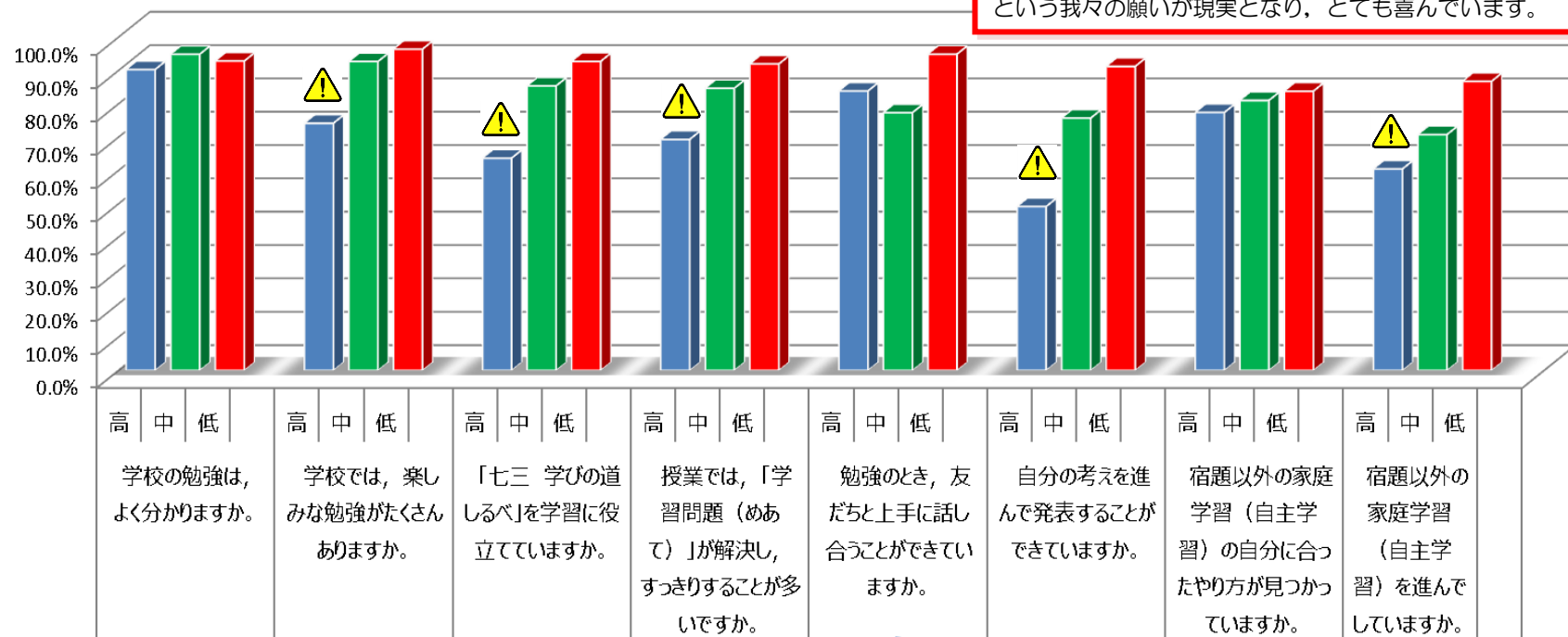


学力調査および児童質問紙に見る本校児童の傾向  
(平成29年4月実施 全国学力・学習状況調査の結果より)  
・国語Bは全国平均をわずかに下回りましたが、それ以外は上回りました。全体としては、およそ全国平均に近い結果となりました。  
・国語では、A B両方で「書く」が全国平均を上回りました。一方で、A B両方で「話す・聞く」、Aでは「読む」が、下回りました。  
・算数では、A B両方で「数と計算」「数量関係」が全国平均を上回り、Aで「量と測定」が下回りました。  
※「量と測定」とは、「図形の面積や体積を計算で求める」「単位や平均、割合などの考え方を理解し、量の大きさを測定したり、比較したりする」といった内容のことを言います。  
・「失敗を恐れず挑戦する経験」「最後までやり遂げてうれしかった経験」「友達と協力して物ごとをやり遂げ、うれしかった経験」をしたと答える子、「困った人がいると進んで助ける」「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある」と答える子の割合が多い傾向が見られました。  
・「読書好き」「学校で好きな授業がある」と答えた子が全国平均より多く見られました。  
・「友達の意見や話を最後まで聞くこと」「友達の考えを受け止めて自分の考えをもつこと」に課題を感じている子が多く、「予習」や「復習」、特に「復習」に取り組んでいると答える子の割合が、全国平均に比べると少なくなっています。

学校運営協議会理事の皆様より（学校関係者評価）  
10月25日（水）、学校運営協議会理事会を行い、理事の皆様は前期学校評価の結果や今後の展望について報告し、ご意見をいただきました。  
・子どもたちのあいさつの声が小さい時、「あいさつ日本一」の言葉を使って声かけすると、しっかりあいさつできるようになる。学校の影響力を感じる。  
・学校がどんどんきれいになり、とても見晴らしがよくなってうれしい。  
・ソフトボール教室では、子どもたちがとても積極的でうれしい。いろんな経験・体験をする場を求めているのではないかと。  
・アンケートではうれしい結果が並んでいるが、100%ではないところは、残りの1割に焦点を当てることが大切だと思う。  
・友達関係もほとんどが良好だと答えているが、そうでないと答える子もわずかが存在する。いじめなどは早期発見が重要であり、そういう声を拾い上げる手立てが必要だと思う。  
※学校では、「いじめ防止基本方針」に基づき、学校評価アンケートだけでなく、年に2回「いじめに特化したアンケート」を実施し、いじめの早期発見と生徒指導に学校体制で取り組んでいます。

## 児童アンケートより

		A	B	A+B	C	D	C+D
		そう思う	大体 そう思う		あまり そう思わない	そう思わない	
学校の勉強は、よく分かりますか。	高	45.2%	45.2%	90.3%	8.9%	0.8%	9.7%
	中	56.9%	38.0%	94.9%	5.1%	0.0%	5.1%
	低	78.6%	14.3%	92.9%	5.7%	1.4%	7.1%
安心して話したり、遊んだりできる友だちがいますか。	高	84.6%	10.6%	95.1%	2.4%	2.4%	4.9%
	中	85.3%	9.6%	94.9%	1.5%	3.7%	5.1%
	低	94.9%	3.6%	98.6%	0.7%	0.7%	1.4%
わけへだてなく、友だちを大切にしていますか。	高	71.8%	24.2%	96.0%	4.0%	0.0%	4.0%
	中	70.6%	25.7%	96.3%	3.7%	0.0%	3.7%
	低	90.6%	6.5%	97.1%	2.2%	0.7%	2.9%
学校生活で、ルールを守り、マナーを心がけていますか。	高	37.1%	52.4%	89.5%	9.7%	0.8%	10.5%
	中	65.0%	29.9%	94.9%	4.4%	0.7%	5.1%
	低	84.1%	13.0%	97.1%	2.2%	0.7%	2.9%
家庭や地域で、ルールを守り、マナーを心がけていますか。	高	35.5%	50.0%	85.5%	13.7%	0.8%	14.5%
	中	70.8%	23.4%	94.2%	5.1%	0.7%	5.8%
	低	85.5%	11.6%	97.1%	2.9%	0.0%	2.9%
火曜日の「ロング昼休み」は、楽しく過ごせていますか。	高	75.6%	16.3%	91.9%	4.9%	3.3%	8.1%
	中	89.8%	6.6%	96.4%	2.9%	0.7%	3.6%
	低	96.4%	3.6%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%



### ◆ 学習に関する設問で、高学年に大きな落ち込みが見られます。

- 高学年の子どもたちは、客観的・現実的に自分たちのことを振り返ることができるようになっていきます。客観的な自己評価である言えます。
- 「自分の考えを進んで発表」の落ち込みが目立ちます。一方、「友だちと上手に話し合う」は高い数値となっています。「話し合う」ためには、自分の考えを表現することが不可欠ですから、「全体での発表に消極的」という結果であると考えられています。全体の場合・オフィシャルな場合でも堂々と自分の考えを表現できる力をつけていきたいものです。
- 他に落ち込みが見られるものとして、「学習問題（めあて）解決」「楽しい勉強」「自主学習」がありますが、これらは連動していると思われます。「学習問題が解決すればすっきりし、勉強が楽しくなります。楽しくなれば自主的に学習する意欲にもつながります。」この好循環の力ギになるのが「七三 学びの道しるべ」です。今はまだまだうまく活用できていない子が多いようなので、今後、具体的に指導を進めていきたいと考えています。

### ◆うれしい数字が並んでいます！！

#### ＜1＞ 学校の授業がよく分かる！

「学校の勉強は、よく分かりますか。」という問いかけに対し、低・中・高学年、全てで9割以上が「**そう思う**」「**大体そう思う**」と答えています。本校では、「質の高い授業」をめざし、教職員一同、日々研鑽を重ねていますが、**各クラスで「わかりやすい授業」が提供**できているととらえたいと思います。

#### ＜2＞ 子どもたち同士の良好な関係！

友達関係に関わる設問の数値が非常に高くなっています。ほとんどの子が、「**仲のよい友達がいる**」「**友達を大切にしている**」ことを実感できているということです。トラブルも少なく、非常に**良好な関係を築けている今がチャンス**です。前向きな取組にも積極的にチャレンジできます。

#### ＜3＞ ルールやマナーを守っている！

「感動と感謝、ルールとマナー」の合言葉のもと、ルールやマナーを自分から守れる子を育てるべく、取組を進めてきましたが、**子どもたち自身が、自覚できていること、学校だけでなく、家庭や地域でも実践できている**と思えていることは、非常にうれしいことです。

#### ＜4＞ 「ロング昼休み」を満喫！

今年度より始めた火曜日の「ロング昼休み」。子どもたちには**大好評**です。特に低学年は100%楽しんでます。「思い切り遊び、友達同士のつながりを深めてほしい」という我々の願いが現実となり、とても喜んでいきます。

## 今後の展望 ～学校は、・・・～

### ● 「質の高い授業」をめざし、授業改善に努めます。

#### ⇒ 「コミュニケーション能力」の育成

「先生の質問に対して答える」というキャッチボールのような授業が従来の学習スタイルだとすると、これからは、先生の投げかけた質問を子どもたちがバレーボールのパス回しのようにつなげていく学習、子どもたちが雪だるまをつくるように膨らませていく学習、あるいは子どもたちが地層の中から化石を掘り出していくような学習が求められています。

参観等で授業をご覧になったとき、保護者の皆様が受けられた授業と大きく異なるものと思います。疑問が生じた場合は、各担任にそのねらいをお尋ねいただければ、より理解を深めていただけたらと思います。

### ● 大胆に改革し、頑固に守ります。

#### ⇒ 「道徳教育」と「キャリア教育」

「道徳教育」における取組の蓄積は、本校の大きな強みですが、いい点は維持しつつも、今に満足せず、バージョンアップを図ります。

とりわけ、「道徳の時間」で学ぶことには、次の4つの内容項目があります。

- A：主として自分自身に関わること
- B：主として人との関わりに関すること
- C：主として集団や社会との関わりに関すること
- D：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

これは、今をよりよく生きるためだけでなく、**子どもたちが豊かな将来展望をもち、職業的・社会的に自立する力**につながっていきます。

上記の「子どもたちが豊かな将来展望をもち、職業的・社会的に自立する力」を育てることを「**キャリア教育**」と言います。本校は、「キャリア教育」を意識した取組も推進します。

### ● 「いじめ・暴力」は絶対に許しません。

#### ⇒ 小中一貫した取組へ

いじめを許さない取組は、「学校いじめ防止基本方針」に基づいて継続して取り組んでいます。この方針は学校HPで閲覧していただくことができます。

今年度第1回目のいじめアンケートでは、「いじめ」「いじめの可能性あり」を件現認し、面談や聴き取り調査を経て、解決に向かっていきます。

小中一貫の取組も着実に広がっていますが、いじめや暴力を許さない取組も模索していきたいと考えます。

### ● 「七三 学びの道しるべ」の活用を進めます。

#### ⇒ 活用の指導と予習のススメ

今年度より導入した「学びの道しるべ」は、見通しをもって学習に参加したり、学習問題（めあて）が解決できたか自己評価したり、復習や自学に生かしたりできるように作成しています。

まずは、子どもたちが活用できるように指導を進めます。同時に、予習を推奨することで、学習の意欲につなげていきたいと考えます。

## 今後の展望 ～家庭では、・・・～

### ● 「大人の本気」を示し、大人がモデルになりましょう！

身近な大人が読書をしたり、新聞を読んだりする姿は、学び続けることを大切さや情報処理のスキル向上の大切さを子どもたちに無言で伝えることにつながります。

大人が読書や新聞から得た情報をコミュニケーションの材料にすることで、人間関係が深まり、子どもの知的好奇心や学習欲求が高まっていきます。子どもが話したいことがあるとき、何かを伝えたいときに、スマホやパソコン、ゲーム、テレビ等を優先している大人の姿をくり返し見ていると、自分よりも大切なものがそこにあるのだという印象が刷り込まれる恐れがあります。

### ● ご家庭・地域での子どもたちの姿を確かめてください！

学校で学んだことが家庭や地域で、放課後や休日に生かされているかどうかを、学校は詳細に把握することができません。しかし、自転車の乗り方や歩行・横断のしかた、遊び方などについて、気になる報告を受けることがあります。今一度、「いのちをうばわない 未来をこわさない」を合言葉に、子どもたちの判断力・危険回避能力を各家庭でも育ててください。